

会議録

会議の名称	第2回加東市総合戦略策定推進会議																	
開催日時	平成29年10月6日（金）午前9時30分～午前11時25分																	
開催場所	加東市滝野図書館 3階 会議場																	
議長の氏名（座長 庭瀬敬右） 出席及び欠席委員の氏名 ＜出席委員＞ <table border="0"> <tr> <td>・庭瀬敬右</td> <td>・西山芳博</td> <td>・大西淳司</td> <td>・生頼和也</td> <td>・田中秀和</td> </tr> <tr> <td>・田中博美</td> <td>・中野剛志</td> <td>・中山江津子</td> <td>・新谷浩三</td> <td>・長谷川智子</td> </tr> <tr> <td>・別府みどり</td> <td>・本山早苗</td> <td>・吉田実宏</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ＜欠席委員＞ <table border="0"> <tr> <td>・多田実乗</td> <td>・藤井良憲</td> </tr> </table>		・庭瀬敬右	・西山芳博	・大西淳司	・生頼和也	・田中秀和	・田中博美	・中野剛志	・中山江津子	・新谷浩三	・長谷川智子	・別府みどり	・本山早苗	・吉田実宏			・多田実乗	・藤井良憲
・庭瀬敬右	・西山芳博	・大西淳司	・生頼和也	・田中秀和														
・田中博美	・中野剛志	・中山江津子	・新谷浩三	・長谷川智子														
・別府みどり	・本山早苗	・吉田実宏																
・多田実乗	・藤井良憲																	
出席した市の職員【事務局等】の氏名及びその職名 ・地域創造部長 藤川憲二 ・地域創造部まち未来課長 小林勝成・地域創造部まち未来課副課長 藤原英樹 ・地域創造部まち未来課主事 新庄善文・地域創造部まち未来課主事 久後翔平																		
1 議 題 1 報告事項 第2次加東市総合計画に関するアンケートの結果を踏まえたかとう未来総合戦略の再評価について 2 協議事項 第2次加東市総合戦略の構成（素案）及び加東市人口ビジョンの改訂（素案）について 3 その他 次回の会議の日程について 2 会議資料 【資料1】かとう未来総合戦略 総括シート（アンケート結果反映版） 【資料2】第2次加東市総合戦略の構成（素案） 【資料3】加東市人口ビジョンの改訂（素案） 3 会議の経過 ⇒別紙「第2回加東市総合戦略策定推進会議・会議の経過」のとおり																		
平成29年10月29日 座 長 庭瀬敬右 職務代理者 西山芳博																		

(別紙) 第2回加東市総合戦略策定推進会議・会議の経過

発言者	会 議 の 経 過 / 発 言 内 容
座長	1 開会 ○資料の確認 2 挨拶 ○藤川部長より10月1日付けで地域創造部長に着任したことを報告。 3 報告事項 ●第2次加東市総合計画に関するアンケートの結果を踏まえたかとう未来総合戦略の再評価について ○資料1について事務局より説明 【質疑応答等】 ・ 前回、事務局から提示された一次評価に対して、それで良いかどうかを判断して二次評価を出したが、今回KPIの数値目標が出たので、それを踏まえて前回のままで良いか、修正が必要かどうかを議論していただきたい。 ・ 全部で4項目あり、1つ目はP1「基本目標①」の「施策2 出産子育て支援の充実『出産及び子育て世代の支援』」で評価は「B」である。2つ目はP5「基本目標②」の「施策2 公共交通の充実『地域連携強化のための公共交通ネットワークの充実』」で評価は「B」である。3つ目はP7「基本目標②」の「施策4 地域基盤の充実『安全・安心に暮らせる地域の基盤づくり』」で評価は「B」である。4つ目はP9「基本目標③」の「施策1 雇用対策の充実『若い世代の就職支援及び市内企業の人材確保の支援』」で評価は「D」である。
委員	◆ P5「基本目標②」－「施策2」について ・ P5の「施策2 公共交通の充実」について「交通手段の確保に対する満足度」が78.2%となっているが、近隣の三木市で運行しているコミュニティバスのようなものが加東市にはない。このような具体的な方向性について市はどのように考えているのか。
座長	・ コミュニティバスに関する市民の考え方によって、KPIが低かったと記載されているので、それに対する市の考えを伺いたい。
事務局	・ 地域公共交通網形成計画を策定し、その中でいろいろな地域の実情に合った交通手段を確保しようと考えている。ただ、コミュニティバスを走らせるという記述はないが、例えば、米田地区、鴨川地区では地域の方々が自主的にバスを運行されている。また、将来的にはデマンドバスのような形も検討していこうということで、今のところはコミュニティバスを走らせるという結論には至っていない。
座長	・ 地域で考えて交通網を整備しているということで、今のところ市としてはコミュニティバスの明確な計画はないということである。 ・ コミュニティバスについては多くの方が関心を持たれていると思うが、今のご意見を踏まえて現在の「B評価」についてはいかがか。KPIが低かったが、発展させていくということで「B評価」で良いか。(異議なし)
委員	◆ P9「基本目標③」－「施策1」について ・ P9の「基本目標③ 市内にしごとをつくり、安心して働けるようにする」の「施策1」の雇用対策は前回の二次評価では「D」だったが、今回のアンケート結果では実績が目標60.0%に対して64.6%と改善されているので「D」の評価は厳しいと思う。「C」くらいで良いのではないか。
座長	・ 「D評価」を「C評価」にという意見だが、他の「B評価」に対してここの「D」は突出して印象が悪い。KPIも改善されているが、「D」である必要はあるのか。
事務局	・ ご意見に感謝する。ただ、基本数値を達成するための施策としてP10～P11にいろいろな事業を書いているが、それについては実施できなかった事業が多く、事業

委員	を実施したからKPIが上がったという捉え方が難しいので、これら記載している事業については大幅な変更が必要であるという認識で一次評価を「D」としている。
事務局	・P10～P11で実現できていないものがあるということは、それができればもっと良くなる可能性もあるのではないかな。やりもせずに見直しというのが分からない。
座長	・いろいろな事業を複合的に組み合わせるともっと数値が上がると思う。平成27～平成29年度で実施できなかった部分について、取組方針を変えたうえで引き続き雇用対策に取り組んでいきたいという思いがある。
事務局	・見直しは止めるのではなく、前回から改善するということで、この目標値が外に向けたものか、内に向けたものかが重要である。今の事務局の説明は、内に向けて「もっと頑張らなければならない」という意味合いを込めて「D評価」にされているような印象だが、外に出すなら「B」と「D」は大きな違いがある。
座長	・この会議資料は公開しているので外にも出る。基本的に、担当課のほうで実施できなかったことも踏まえて、一次評価は厳しく評価をしている。この会議でどのように評価していただくかはこちらから言える立場ではないので、内部に向けての叱咤激励という意味はある。
委員	・外にも出すし、中に向けての目標値でもあるということで、頑張ってもらう意味では「D評価」で良いか。
座長	・頑張ってもらうことが重要なので、そういう理由なら今は「D」で良いと思う。
	・ここは重点的に取り組むべきという事務局の認識があるということである。
	・他に意見ははなないか。（意見等なし）
	・意見がなければ、前回の二次評価のまま「D」で決定する。（異議なし）
	・残り二つの施策について意見がなければ現行の二次評価のまま決定する。（異議なし）
	4 協議事項
	●第2次加東市総合戦略の構成（素案）について
	○資料2について事務局より説明
	【質疑応答等】
座長	・総合計画という10年計画に対して、人口増加に特化した5年間の総合戦略を総合計画と対応させながら考えていくという説明があった。
	・今回議論していただきたいのは、総合戦略の構成についての修正や追加であり、説明に関する質問等があればお願いしたい。
委員	◆ 総合戦略策定の目的について
事務局	・総合戦略策定の目的を分かりやすく説明してほしい。
	・総合計画と総合戦略は紛らわしい名称でもあり、混同されることもあると思う。総合計画は、市のあらゆる事務事業の構成を定めた計画であり、その総合計画の中で重点戦略として位置付けるものがある。例えば、道路の関係では道路の長寿命化やネットワーク化を重要なものとして重点戦略に位置付けている。
	・総合戦略は人口減少に歯止めをかけることに特化し、総合計画の重点戦略に位置づけた内容でも、道路の長寿命化が人口減少の歯止めには直結しなければ入れないし、道路のネットワーク化が直結するなら抜き出して総合戦略に位置付ける。つまり、人口減少に歯止めをかける事業を寄せ集めた計画が総合戦略である。
	・日本全国で人口減少が問題になっている中で、流出人口の減少、出生数の上昇等、全市区町村が取り組んで、ボトムアップ的に人口減少に歯止めをかけようとして取り組んでいる計画である。
座長	・道路のネットワーク化とは、具体的にどのようなものか。
事務局	・一つの例としてお話したが、道路のネットワーク化はいろいろな拠点を結ぶのに重要な役割を持つもので、何と何を繋いで道をつけるかというイメージだと思っていただきたい。
委員	・総合戦略の最終的な目的は加東市の人口の減少に歯止めをかけることであり、そのための施策を展開するということか。
事務局	・その通りである。

座長	・道路の説明を例に出していただいたが、人口を集めるためには、道路のネットワークが整備されるとより住みやすいまちになって、人が来るという考え方である。
事務局	・総合計画は全体的な計画になるが、逆に戦略に入らなかったものは残されてしまって実行されないのではないかという懸念がある。
座長	・総合計画は全体的な計画だが、個別の計画は別途様々なものがある。例えば高齢者の介護保険事業計画は介護が必要な方をどのようにケアしていくかという計画であり、交通の計画では、前述のように道路の長寿命化の計画もあり、それぞれ個別の計画で対応していくというスタイルである。
委員	・その中で人口減少に関して強力に推し進めるのはどこかというのを総合戦略で示すということである。 ◆ 工場の誘致と、特産によるブランド戦略について ・昨年、凸版印刷は伊丹工場を閉鎖して滝野工場に集約し、150名の社員がこちらに移ったが、120数名は加東市か近隣の市に住んでいるので、人口を増やすには工業団地の誘致が一番話が早いと思う。 ・各自自治体とも人口を増やすための取組を行っているが、その中で福井県の鯖江市が話題になっている。鯖江市はメガネの生産日本一だが、安価なメガネに押されて産業が衰退し、職人の数も最盛期の半分以下になった。しかし、あるファッションショーで有名モデルが鯖江の眼鏡をかけ、それがSNSで広がったことで再び生産が増え、今は「世界に羽ばたく鯖江」というスローガンで世界的に有名になっている。衰退していても良いものであれば世界に通用するということである。 ・加東市にも東条湖やゴルフ場をはじめ、観光レクリエーション施設が立地している。また酒米の「山田錦」も有名で、せっかく良いものがあるので、アピールの仕方によっては今以上にブランド化されるのではないか。最近「山田錦」の圃場の土を使ったぐい呑みも作られて「道の駅とうじょう」で売られている。このように地域特産の「山田錦」をメインに、その土を使ったその地域でしかできないものをブランドにして、世界にアピールするような取組も入れて欲しい。
座長	・世界に羽ばたくブランド化の計画はないのか。「山田錦」とつなげてその土を使った酒器があるという話だが、その中に加東市が入ると良いのではないか。
事務局	・「山田錦」などは加東市の誇れる特産品であり、現行の総合戦略でもシティプロモーションの形で取り組んでいるが、まだ活動としては足りないので、次期総合戦略の中ではシティプロモーション、シティセールスで積極的に「山田錦」やその他、まだ埋もれている優れたものを見出しながら加東市をPRしていきたい。
座長	・「山田錦」だけでは他市でも作られていると思うので、「山田錦」と加東市の特化したもので具体的なものがあると「鯖江の眼鏡」のような世界に羽ばたけるブランドができて、人を集める影響があるのではないか。
事務局	・加東市のまだ隠れている地域資源を発見し、また、すでにある資源はもっと知名度を上げていく。そういう意味からも、今はSNSが有効な手段なので「KATTO」という写真のアプリを用いながら、複合的にシティプロモーションを実施していくと考えている。そういうことも総合戦略に記載していく予定である。 ・工業団地の話については、加東市の中でも次の工業団地の必要性は十分認識しており、次の新たな計画についても検討している。現行の総合戦略でも「新たな工業団地用地の選定」という項目を設けているので、引き続き次期総合戦略の中に記載していきたいと考えている。
座長 事務局	・新たなアイデアを出すために、課の中で意見を出し合う場があるのか。 ・1つの課だけでは難しいので、横の連携が大事である。地域創造部には他に農林課、商工観光課があり、農林課は特産品、商工観光課は観光を所管しているので、例えば「山田錦」の圃場の土を使った酒器をどう扱うかについても連携して考え、新しいアイデアがあればそこで事業化していくというスキームで動いていく。
座長	・写真もSNSを使って募集をしているが、事務局だけでなく、市民のアイデアを募ることも必要。

委員	・インターネットを見ると「山田錦」の圃場の土を使った酒器などが出てくる。SNSで話題になれば一気に広がるが、それをいかに広げるかが難しい。福岡の方の地域おこし協力隊の活動で、ネットワークを活かしその地域の特産やその地域でしか手に入らないものを全国に呼び掛けて取組を発信している。そういうものを活用するとSNSで発信する機会も増える。 ・きっかけが重要で、希少価値のある土に「山田錦」というブランドを付けて発信する等、最終的にはやったもの勝ちである。これが広がると「山田錦」＝加東市、東条になるので、独特のものを持っている東条のチャンスだと思う。私は2年前にそのぐい呑みを購入したが、道の駅で手に取ってもらえればその良さは分かるはずである。徳利1つで4,000～5,000円と少々高いが作者名入りで数万円と、もっと高くても良い。そのようにブランド化して発信する手法が一番良いと思う。
座長	・ブランド化もそうだが「ケンミンショー」で取り上げられて人が来た例もあった。ブランド化とともに特長が知られると人が集まると思うので、加東市の特長が何かを明確にして打ち出すことも必要である。
事務局	・頂いたご意見のように、加東市には良いものがたくさんあるが、今は「加東市といえばこれ」という認識が他市町からは低いと思うので、ブランド化して、その見せ方を次期の総合戦略においても工夫し、加東市のイメージをしっかりと作っていきたい。
委員	◆ 「住みよさ」の発信について ・ブランドの話で思い出したが、加東市は「住みよさランキング」で全国か近畿の上位にランクインしているので、その点をPRできないか。 ・ただ、実際に住んでいる者にとっては「どこが上位なのか」と思うところもあるので、住んでいる我々が「上位になるだけの住みやすさ」と実感できるまちにしたい。それに加えて「山田錦」のようなブランドがあって、「加東市は住みやすい」「こういうブランドもある」とPRできるものがあればなお良いと思う。
事務局	・東洋経済新報社が発表した「住みよさランキング」で、全国の都市814の中で加東市は54位(2017年)、兵庫県内では芦屋市に次いで2位という非常に良い位置にいる。また「住みよさランキング」には「安心度」「快適度」「住居水準充実度」等の項目があるが、加東市が一番突出しているのが「快適度」であり、都市公園の1人当たりの面積については播磨中央公園等が大きく寄与していると思う。 ・加東市も今、移住・定住の方で「住みよさランキング」をPRしており、これもブランドの1つと考えて、順位を下げることをないようにするのも1つの戦略ではないかと考えている。
座長	・山との際なので境界領域の豊かさがあり、山や平野があるという地形的な魅力や、交通の要所であること等もアピールできたら良い。ただ、総合的に良い評価を得られたのは良いが、「住みよい」という言葉だけでは具体的な理由が分かりにくいと思う。
委員	◆ 外部へのアピールの仕掛けづくりについて ・私は道の駅で働いているが、市外から来る人に加東市の良さがなかなか伝わらないと感じている。これから中身の素晴らしい計画ができると思うが、作っただけでは何も伝わらないので、それをいかにアピールするかという手法を考えなければならない。例えば、プロモーションビデオを県外、市外の人に来る道の駅や「おもちゃ王国」、各ゴルフ場のカウンターに設置してアピールする等、手法を重点的に考えることが必要だと思うので、そういうものも入れていただきたい。
事務局	・シティプロモーション、シティセールスなどいろいろあるが、今年度、それらについての取組を考える庁内プロジェクトを立ち上げ、関係部署の若手職員でプロジェクトチームを組織しているので、そこから意見が出てくると思う。そういうことも踏まえてご指摘いただいたような形で組み込んでいけたらと考えている。
座長	・コマーシャルが必要だということで、良さをアピールするためにキャッチコピーやプロモーションビデオを作り、多くの人が見る道の駅などに置いてはどうかという意見を頂いた。

委員	・1日1,000人近くの人に来て、情報コーナーもある道の駅、あるいは「おもちゃ王国」等でプロモーション活動をすると市外の方の目につく。南山も工場で埋まるので働く場所もあるし、住んでも県内トップクラスの住みよいまちになっている等、その辺りをピンポイントで表現できればもっと人が増えると思う。
座長	・興味のある方にお知らせということで、方言などでも興味を持ったりするので、この地域での方言を紹介するのもアピールポイントの1つかもしれない。 ・たくさんのご意見を頂いた。時間の都合上次に進むが、関連する内容があれば、最後に改めてご意見を頂きたいと思う。
座長	●加東市人口ビジョンの改訂（素案）について ○資料3について事務局より説明 ・ただ今の説明に対する質問、意見はないか。
座長	◆ データの活用について ・人口ビジョンとして細かく推計されているが、このデータはどのように活用するのか。どう計算しても人口は減るので、努力すれば傾きが緩やかになる、あるいは上向きになることはあるが、人口減少はどうしようもないという認識である。細かく推計して加東市の政策にどうつなげるのか。
事務局	・人口ビジョンの位置づけとして総合戦略とセットのイメージだが、地域ごとに人口の特性や人口減少の要因は様々なので、まずは人口ビジョンによって、地域の現状や実情をデータを用いて分析し、人口の特性を勘案した上で、どこを重点的な施策として取り組んでいくか、これを記載したものが総合戦略という位置づけになる。要は、現在の加東市における人口の特性やデータを掲載し、いろいろな要因の中で、今後重点的に取り組んでいく施策を総合戦略に記載している。
事務局	・確かに、人口ビジョンが右肩上がり推計できたら良いが、人口ビジョンという将来の人口推計は、総合計画の下につながる様々な個別計画にも反映させていくので、ある程度シビアに見ているのが現状である。
委員	◆ 出生率上昇の要因と、外国人対策について ・出生率が2010年～2015年で上がっているが、特殊要因で瞬間的に上がったのならそれ以降の読みが変わると思うので、大きく伸びた要因を把握しているのか。 ・もう1つ、人口の中に外国人はどれだけ含まれているのか。日本全国で人口が減っているのに、労働力を外国人に頼らなければならない状況になると言われている。当然、加東市も外国人の力を必要とし、工業団地にとっては現実問題である。その辺りの取組をどう考えているのか。
事務局	・出生率の上昇の要因については、全国的に2010年～2015年は出生率が上昇傾向にある。これは35～40歳、40～45歳くらいの出産可能年齢人口が多いために第二子、第三子が多く産まれたのではないかと考えられる。加東市における詳しい要因は分析中であり、分析結果を今後どう反映させていくかを検討中である。 ・また外国人の方については、基本的に人口ビジョンの中の数値に含んでおり、将来人口推計にも含んでいる。
委員	・出生の要因については、市の取組が良い形であればそのまま考えて良いと思うので、そこは把握しておいていただきたい。 ・また、外国の方が含まれているのであれば、それに対応した市の施策をどこかで反映させた方が良いと思う。
事務局	・外国人に対する施策としては、在留外国人に住みやすいと感じてもらえるような施策展開が重要なので、その辺りは総合戦略の方で検討する。
座長 委員	・外国人が働く場合、移動手段の問題がある。 ・イオンは17時以降に外国の団体客が来ることが多いが、地域の方の中にはそれを嫌がる方もおられるようである。ダイバーシティが言われている中で、そういう視点で考えても偏見があるのは問題だと思うが、それに対して市はどう考えているのか。
事務局	・日本語学校の生徒に聞き取りをしているが、やはり、日本で生活するにあたって

座長	は「病気になった時などのために手続き案内がほしい」という意見があった。 ・一方で、国際交流協会のほうでも、外国の方が自分の住む地域のルールを知らないために、ルール違反をしてしまうことがあるようなので、例えば、ゴミ出しのマナーを外国語で書いて貼り出す等、外国の方に地域のルールを知っていただくような取組を行う。それによって、地域住民と良い関係を保つことができると思う。 ・マナーができていないと周りの人も不快感があると思うので、その時に言葉が分からないというのではなく、英語で伝えていくことも必要だと思う。 ・人口ビジョンは平均的な推計よりも、具体的に何ができるかというデータが重要だが、子どもを複数持とうとしない要因や環境を変えると出生率がどう上がるかということも検討が必要だと思う。
座長	◆ 他市町との転出入について ・他地域との転出入の関係で小野市から加東市に来ている人が多いようだが、その要因は何か。その辺りの情報はあのか。
事務局	・聞き取りによると、小野市に家を建てようとしても加東市よりも地価が高く、加東市の方が建てやすいということ、アパートも加東市は新築の件数が多く、綺麗なアパートに住めるので、加東市を選ばれる方が多いようである。
座長	・住居条件が加東市の方が良いようである。 ・都会への転出は東京、大阪が多いが、そういうデータが転出入の参考になるのではないか。
事務局	・加東市の若手職員グループが、転入、転出された方に対してその理由をアンケート調査したところ、仕事の関係で転入、転出する、あるいは就学でという人がほとんどだった。他は非常に少ない数値だった。
委員	◆ 地域別人口の推移について ・P5の「地域別人口の推移」について、例えば、滝野地区はこの数十年で増えているが、その要因やデータがあれば教えてほしい。また、住宅開発が要因なのか、他の要因かどうかも知りたいので、地域別にもっと細かく、例えば滝野地区のどの辺りが増加しているかというデータがあれば知りたい。
事務局	・滝野地域の人口推移の上げ幅が大きいのは、土地区画整理を上滝野、下滝野、新町、北野、多井田、河高と数多く行い、家を建てられる場所ができたことが大きな要因と考えている。また、過去には平成元年頃に有線テレビを整備したので「滝野は大阪テレビが映る」という理由でアパートを選ぶという話も聞いている。やはり区画整理によって住む場所、家を建てられる場所があることは大事と実感している。 ・反対に社地域などは人口があまり増えていないが、これは社地域に市街化調整区域が多く、その部分の人口減が大きい。当然、社地域の中でも市街化区域は家を建てやすい。したがって、市街化調整区域等の家を建て難いところについて、どのように家を建てやすい環境を整備するかということが大きな課題になっているので、それも総合戦略に書き込む予定である。 ・データの部分については人口の推移で数字を積み上げているが、他には人口密度に関して、平成22年の国勢調査までは、加東市はDID(人口集中地区)という4,000人以上で人口密度が一定以上のところがなかったが、平成27年の国勢調査で初めて上滝野、下滝野の一部が指定を受ける状況になっているので、今はまだ人口増加傾向にはあると言える。
委員	◆ コミュニティ機能の低下と、「住みよさ」の調査について ・P21の「人口減少の影響」の「コミュニティ機能の低下」について、私は子ども会の役員をしているが、現在、入会する人が減少し、役員になる人もかなり減って引継ぎができないという不安を抱きながら活動している。また、子ども連絡協議会の方から公民館に行事の案内があった時に、活動を呼びかけても参加者が集まらない現状がある。理由としては、サッカーや野球などの試合と重なって参加で

事務局	きないという人も多く、日程もとれない。地区の活動に対してコミュニティがつかれないという現状を報告しておく。 ・また、他市から転入して住んだ直後には分からなかった加東市の住みよさを調査するために、5年ほど住んだ方にアンケートをとるのも良い手ではないかと思う。 ・加東市に転入されて一定期間住まれた方にターゲットを絞ってアンケートを実施したことはないが、5年に1回や3年に1回くらいのペースで、総合計画の策定の中で4,000人くらいの方を対象にアンケートを取っている。そういう中でアンケート項目として想定できたらと思う。
委員	・転入直後には分からなくても、子育てしながら、元住んでいたところと今住んでいる加東市の違いを認識しはじめる時があると思うので、そういうのも加東市の良さのPRに活かしたら良いのではないかと思う。
座長	・子ども会は全国的に減っており、難しい問題だと思うが、子ども会に関して市はどう考えているのか。
事務局	・子ども会活動は生涯学習課が所管しており、いろいろな行事で協力をお願いしている。ただ、今はライフスタイルが多様化して、子どもも親も忙しく、子ども会活動に参加していただける方が少ないと聞いている。それについては生涯学習課の課題として、総合戦略ではなく個別対応という形になると思う。
委員	・私も加東市に転勤してきた身であり、市外を経験したり、市外にいと加東市の良さがよく分かる。年数は経っていてもいなくてもその違いは分かると思うのでアンケートの提案は良いと思う。是非実施していただきたい。 ・子ども会については、大人が考えるからダメなのではないか。子どもにしたいことを考えさせた方が、積極的に参加しようと思えるのではないか。市でそういうことを考えるのであれば、子どもたちの意見も聞く形に変えても良いと思う。
座長	・今は子どもにケガをさせないように、大人が管理できる形で子どもたちに行事をさせている可能性がある。
委員	・今は遊び方が変わっているので、例えば、ゲーム大会のような集まりでも良いのではないか。そこに人が集まってコミュニケーションがとれたら良いと思う。
座長	・子どもが集まるようなことを考えて、まず子どもを集めることが大事である。
委員	・私は多井田地区の区長をしており、コミュニティの問題には日々悩んでいる。多井田地区は土地区画整理事業により一度に50軒くらい増えたので、土地区画整理事業による人口増は学んだが、人が増えればコミュニティ機能が低下しないというわけではなく、最近の若い人たちの考え方にもよるので、いかに地域に馴染むかということが今後の課題になる。旧住民と新住民の交流も行っているが、そのやり方はこれからの課題であり、市も人が入って来ることに對して、旧村との交流なども考慮しながら上手くコミュニティが回るような指導をお願いしたい。
座長	・多くの意見をいただいたが、全体について意見はあるか。（意見等なし） ・それでは、これ以降に意見がある場合は意見書に記入して、10月13日までに事務局へ提出していただきたい。
座長 事務局	5 その他 ●次回の会議の日程について ○次回の日程について事務局より説明、及び調整 → 12月20日(水)午前中の予定 ・以上で本日の協議事項を終了する。 ・今後は、同時進行で策定作業をしている総合計画と歩調を合わせながら議会に報告した後、第3回の会議、パブリックコメント、パブリックコメントの結果報告を受けての3月策定を目指している。今後ともよろしく願いたい。 ・それでは予定した議事をすべて終了したので、閉会とさせていただきます。 以 上